

日本スポーツ学会とは

＜目的＞

「スポーツ・フォア・オール」の精神に基づき、スポーツは人類共通の文化であるという認識のもとに、スポーツ文化についての研究を行い、あわせて我が国のスポーツ情報について、さまざまなスポーツ団体や個人と協力して、スポーツ情報のネットワーク化を推進し、スポーツ文化の発展と向上に寄与することを目的とする。

＜会員＞

現役選手、元選手、指導者、スポーツ団体、スポーツ施設関係者、障害者スポーツ関係者、有識者、ジャーナリスト等、会員数約160人。

＜主な事業＞

- ① スポーツ情報について、すでにあるスポーツ団体相互の連携を密にし、情報の収集や提供を行い、各スポーツ活動をより円滑に促進し、助成する。
- ② 海外における、スポーツ文化活動との連携を深め、情報のネットワーク化を図る。
- ③ スポーツに関する研究成果、および収集したスポーツ情報については、定期的に発行するニュースレター等により公表する。
- ④ 定期的研究会の実施により、スポーツ文化についての研究を行い、その成果を公表する。
- ⑤ 講演会等の実施により、スポーツの関心を深める。
- ⑥ 自治体との連携により、地域における各種スポーツ活動、及び学校・P T A等の実施するスポーツ活動に対し、講師等を派遣し支援（実技指導、メンタル指導を含む）を行う。
- ⑦ あらゆるスポーツ活動による事故に対する相談、及び問題処理を行う。
- ⑧ スポーツに関する資料、文献等を保存するスポーツ博物館や図書館の整備充実、および建設を行う。
- ⑨ その他スポーツ振興に関わる活動を行う。